

絵本の里けんぶちジュニアが総合2連覇

地区予選第5戦 北海道選手権

日本一を懸けて戦う JAPAN CUP の地区予選第5戦、「第35回北海道チアリーディング選手権大会」が6月22日に千歳市スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）で開催された。大会には自由演技競技とスモールグループ演技競技の両部門に小学生から社会人まで24チームがエントリー、北海道 NO.1 と JAPAN CUP の切符を懸け真剣勝負が繰り広げられた。

総合優勝は、自由演技競技 中学校の部を制した、**絵本の里けんぶちジュニアチアリーディングクラブ**で、大会2連覇を達成した。過去に高等学校の部、一般・社会人の部のチームが総合で連続優勝を果たしたことはあるが、中学校の部優勝チームの連覇は初。

絵本の里けんぶちジュニアは、シンクロ性の高いタンブリングやシャープで力強いアームモーション、リズムカルで軽快なダンスで会場を盛り上げた。高さのあるバスケット トスや安定感あるパートナースタンツから展開される連続技は見応え十分で、会場は終始大きな手拍子と歓声に包まれた。同チームは規定演技でも中学校の部 第1位を獲得し、見事 JAPAN CUP の出場権を手にした。

自由演技競技 中学校の部は、**札幌チアリーディングチーム**が準優勝。難易度の高いスタンツ、小気味よいダンスや美しいタンブリングなど魅せ場が多かった。優勝には一歩及ばなかったが JAPAN CUP 予選通過を果たした。

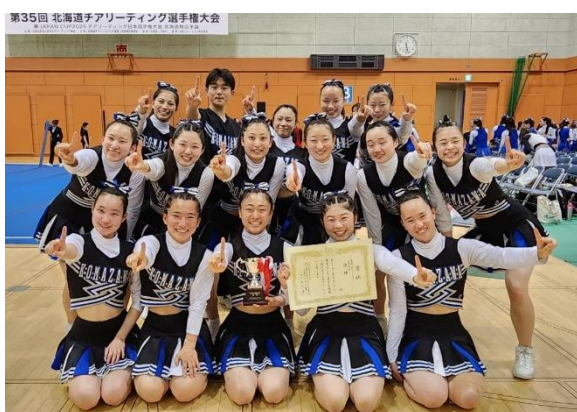


絵本の里けんぶちジュニアチアリーディングクラブ

高等学校の部は5チームが出場。強豪が揃う中、今回は一昨年の覇者・**帯広北高校**が総合順位で頂点に立った。高さのあるジャンプやタンブリング、三層スタンツでの移動のほか、演技中盤は規定演技第1位の実力を発揮したコールパート、ブルーマットをフルに活用した動きのあるダンスと終始観客を飽きさせない演技を披露した。帯広北は自由演技で準優勝だったが、総合順位は1位となりJAPAN CUPの予選を見事通過した。



帯広北高等学校



駒澤大学苫小牧高等学校

総合順位2位は**駒澤大学附属苫小牧高校**。息の合ったパートナースタンツから三層への展開がチアリーディングの醍醐味を味わえる構成。派手さはないものの安定感抜群のスタンツや美しいアームモーション、ダイナミックなダンスも会場を沸かせた。規定演技3位、自由演技優勝の結果となり、フライデーターナメント出場を決めている。

大学・社会人の部はこの部門敵なしの**札幌チアリーディングチーム**が優勝、フライデーターナメント進出を決めた。高さのあるジャンプ、規定演技第1位の技術が光るアームモーションで基礎力の高さを発揮し、軽快なダンスで会場を魅了した。スピード感とキレのある動きで次々とスタンツを成功させると、会場からは大きな歓声が沸き起こった。



札幌チアリーディングチーム

小学校低学年の部は、**絵本の里けんぶちジュニアチアリーディングクラブ・A**が3年連続の優勝。ジャンプ、スタンツ、アームモーションのいずれも落ち着いていたが、カラフルなポンポンを使用したダンス場面では一転して元気のよさをアピールし、大きな歓声を浴びた。



絵本の里けんぶちジュニアチアリーディングクラブ

小学校高学年の部は、**札幌チアリーディングチーム**が昨年準優勝の雪辱を果たし優勝した。トップの柔軟性を活かしたパートナースタンツと安定感のあるピラミッド、チームカラーのボンポンを使ったダンスは華やかで、観客の目を楽しませた。



札幌チアリーディングチーム

第1部のエキシビション ジュニアスターは3チームがエントリーし、**札幌チアリーディングチーム・A**が技能賞、同・Bが敢闘賞を獲得。第2部のエキシビションでは、3名と少人数ながら健闘した**帯広北高校**に敢闘賞が贈られた。

会場でのマナーや応援姿勢が最も素晴らしいチームを出場全選手の投票による「ベストマナー賞」は、第1部（小・中学生）は**豊浦ジュニアチアリーディングクラブ**が、第2部（高校・大学・社会人）は**帯広北高等学校**が選ばれた。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.